

## 6 測量編

### 6-1 適用

(国) 測量納品要領の下記の記述を読み替えること。  
国土交通省： 1.測量業務共通仕様書(案) (各地方整備局)  
↓  
山 梨 県： 1.山梨県県土整備部 (土木部) 「測量業務共通仕様書」

<国土交通省版の関連頁>

(国) 測量納品要領：1 適用 (p1)

本編では、(国) 測量納品要領で規定している事項のうち県で独自に定めた事項等についての相違点を以下のとおり記述している。

- 県が(国) 測量納品要領に追加した項目は、波線で表現。

例)

- ・ 波線(追加) →建標承諾書

追加した項目は、将来にわたり、再利用が想定されるもの。(地形図データ、成果表(数値データ)、測量標設置位置通知書 等)

- 県が(国) 測量納品要領より削除した項目は、取消線で表現。

例)

- ・ 取消線(削除)→観測手簿(数値データ)

削除した項目は、電子納品を受けても再利用が想定されず提出する必要がない(紙による提出も必要ない)もの。(観測手簿(数値データ)、点の記(数値データ)、観測成果表(数値データ) 等)

- 県が(国) 測量納品要領を変更した項目は、下線で表現。

例)

- ・ 下線(変更) →PDF

変更した項目は、受発注者間により協議し決定すべき項目の標準化を図る若しくは、再利用性を考慮し、ファイル形式を変更した箇所。(復元箇所位置図 PDF、線形図 PDF 等)

## 6-2 全体構成

DOCサブフォルダに格納する成果は下記に示されるファイル形式によって成果ファイルを作成する。

表 6-1 DOC サブフォルダ内の成果 [国土交通省 表 2-1]

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
特記仕様書	PDF	SPECS	<u>イメージからPDF</u>
協議書	PDF	MEETS	複数協議書ファイルが存在する場合、連番(3桁)をファイル名称の後に付加する。
実施報告等	オリジナル	SUVRP	<u>Microsoft Word、一太郎または Microsoft Excel</u>

### 1) 特記仕様書

特記仕様書は、契約書に添付する特記仕様書をスキャナ等で読み取り、イメージデータにし、PDF ファイルを作成する。

### 2) 協議書

協議書については、本運用マニュアル共通編 4-10 を参照する。

### 3) 実施報告書

実施報告書を作成する際に利用するソフトについては、本運用マニュアル共通編 4-1 に定義されているとおり、Microsoft Word、一太郎または Microsoft Excel を採用することとする。

<国土交通省版の関連頁>

(国) 測量納品要領：2-1 全体構成 (p2～7)

## 6-3 測量フォルダ構成

成果ファイルの格納先は下記に従う。

表 6-2 成果ファイルの格納先フォルダ一覧表(1/6) [国土交通省 表 2-4]

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
基準点 測量	測量記録	基準点測量	基準点網図、平均図、観測図、観測手簿、観測記簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、精度管理表、点検測量簿、埋標手簿、測量標の地上写真、基準点現況調査報告書	基準点測量
	測量成果	基準点測量	成果表、成果表(数値データ)、点の記、点の記(数値データ)、建標承諾書、測量標設置位置通知書	
	その他データ		測量機器検定証明書、ファイル説明書等	

表 6-2 成果ファイルの格納先フォルダ一覧表 (2/6) [国土交通省 表 2-4]

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
水準測量	測量記録	水準測量	水準路線図、平均図、観測手簿、 <u>観測手簿(数値データ)</u> 、計算簿、精度管理表、点検測量簿、測量標の地上写真、基準点現況調査報告書	水準測量
	測量成果	水準測量	観測成果表、 <u>観測成果表(数値データ)</u> 、平均成果表、平均成果表(数値データ)、点の記、 <u>点の記(数値データ)</u> 、 <u>建標承諾書</u> 、 <u>測量標設置位置通知書</u>	
	その他データ		測量機器検定証明書、ファイル説明書等	
地形測量	測量記録	平板測量	精度管理表	平板測量 TS地形測量
		撮影	標定成果表、標定点配置図、水準路線図、標定点測量簿、標定点明細簿等、精度管理表	空中写真測量(標定点設置)
			<u>対空標識点明細票</u> 、 <u>偏心要素測定簿</u> 、 <u>偏心計算簿</u> 、 <u>対空標識点一覧図</u> 、精度管理表	空中写真測量(対空標識設置)
			標定図、撮影記録、精度管理表	空中写真測量(撮影)
			<u>刺針点明細表</u> 、 <u>偏心測定簿</u> 、 <u>偏心計算簿</u> 、 <u>刺針点一覧図</u> 、精度管理表	空中写真測量(刺針)
		空中三角測量	空中三角測量成果表、空中三角測量実施一覧図、基準点残差表、座標測定簿、計算簿、精度管理表	空中写真測量(空中三角測量)
		図化	精度管理表	空中写真測量(現地調査)
			標定記録簿、精度管理表	空中写真測量(図化)
			地形補備測量図、精度管理表	空中写真測量(地形補備測量)
			精度管理表	空中写真測量(編集)
			精度管理表	空中写真測量(現地補足)
精度管理表	空中写真測量(地形図原図作成)			

表 6-2 成果ファイルの格納先フォルダ一覧表(3/6) [国土交通省 表 2-4]

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
	測量記録	図化	精度管理表	写真図作成
			精度管理表	DM(デジタルマッピング)
		修正測量	精度管理表	修正測量
		地図編集	精度管理表	地図編集
		既成図数値化	精度管理表	既成図数値化
		デジタルオルソ	精度管理表	デジタルオルソ
		その他地形測量	—	—
	測量成果	平板測量	地形図原図	平板測量
			DMデータファイル、インデックスファイル、DMデータファイル説明書、数値地形モデル、デジタルオルソデータファイル、位置情報ファイル	DM(デジタルマッピング)、TS地形測量、既成図数値化、デジタルオルソ
		その他データ	測量機器検定証明書、ファイル説明書	—
路線測量	測量記録	中心線測量	計算簿	線形決定
			観測手簿、計算簿、精度管理表	条件点の観測
			計算簿、精度管理表	IP 設置測量
			計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	中心線測量
		縦横断測量	観測手簿、精度管理表	仮 BM 設置測量
			観測手簿、精度管理表	縦断測量
			観測手簿、精度管理表	横断測量
		詳細測量	観測手簿、精度管理表	詳細測量
	幅杭測量	計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	用地幅杭設置測量	
	測量成果	中心線測量	線形図	線形決定
			成果表、成果表(数値)データ	条件点の観測
点の記			IP設置測量	

表 6-2 成果ファイルの格納先フォルダ一覧表(4/6) [国土交通省 表 2-4]

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
路線測量	測量成果	中心線測量	線形地形図、引照点図、点の記	中心線測量
		縦横断測量	成果表、成果表(数値データ)、点の記	仮BM設置測量
路線測量	測量成果	縦横断測量	成果表、成果表(数値データ)、縦断面図	縦断面図
			横断面図、 <u>成果表(数値データ)</u>	横断測量
		詳細測量	成果表、成果表(数値データ)、詳細平面図、縦横断面図	詳細測量
		幅杭測量	杭打図	用地幅杭設置測量
	その他データ	測量機器検定証明書、ファイル説明書	—	
河川測量	測量記録	距離標設置測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、精度管理表	距離標設置測量
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、精度管理表	水準基標測量
		定期縦横断測量	観測手簿、精度管理表 業務報告書	定期縦断測量
			観測手簿、精度管理表 業務報告書	定期横断測量
		深浅測量	観測手簿、計算簿、精度管理表、 <u>記録紙</u>	深浅測量
		法線測量	観測手簿、計算簿、精度管理表	法線測量
		海浜・汀線測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、精度管理表	海浜測量
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿	汀線測量
	測量成果	距離標設置測量	成果表、成果表(数値データ)、点の記、距離標位置情報整理表	距離標設置測量
			成果表、成果表(数値データ)、点の記	水準基標測量
		定期縦横断測量	測量成果整理表、測量成果(数値データ)、縦断面図	定期縦断測量
			測量成果整理表、測量成果(数値データ)、横断面図	定期横断測量

表 6-2 成果ファイルの格納先フォルダ一覧表(5/6) [国土交通省 表 2-4]

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
河川測量	測量成果	深浅測量	横断面図、縦断面図 等高・等深線図	深浅測量
		法線測量	線形図	法線測量
		海浜・汀線測量	等高・等深線図	海浜測量
		海浜・汀線測量	汀線図	汀線測量
	その他データ	測量機器検定証明書、点検測量簿、 ファイル説明書等	—	
用地測量	測量記録	資料調査	公図等転写連続図、土地調査表、 建物登記簿等調査表、地積測量図 転写図、権利者調査表	資料調査
		境界確認	観測手簿	復元測量
			土地境界立会確認書	境界確認
		境界測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、 測量計算簿等	境界測量
			基準点網図、観測手簿、観測手簿 (数値データ)、計算簿、精度管 理表	補助基準点 の設置
			計算簿、精度管理表	用地境界仮 杭設置
		計算簿	用地境界杭 設置	
		境界点間測 量	精度管理表、精度管理図	境界点間測 量
	面積計算	—	面積計算	
	用地実測図 等の作成	精度管理表	用地実測図 等の作成	
	測量成果	資料調査	—	資料調査
		境界確認	復元箇所位置図	復元測量
			—	境界確認
		境界測量	成果表、成果表(数値データ)	境界測量
			成果表、成果表(数値データ)	補助基準点 の設置

表 6-2 成果ファイルの格納先フォルダ一覧表(6/6) [国土交通省 表 2-4]

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			設置箇所位置図、成果表、成果表 (数値データ)	用地境界仮杭設置
			設置箇所位置図、成果表、成果表 (数値データ)	用地境界杭設置
		境界点間測量	—	境界点間測量
		面積計算	面積計算書、面積計算書(数値データ)	面積計算
		用地実測図等のデータ	用地実測データ、用地平面データ	用地実測図等のデータ
用地測量	その他データ		測量機器検定証明書、ファイル説明書等	—
ドキュメント類			協議書、特記仕様書、実施報告書	—

< 国土交通省版の関連頁 >

(国) 測量納品要領：2-1 全体構成 (p18～p22)

#### 6-4 測量成果管理項目

「測量成果ファイル名副題」については、必要に応じファイル命名規則に従った「測量細区分」「成果等の名称」を記入する。

測量成果管理ファイル (SURV\_KTN.XML, SURV\_SJN.XML, SURV\_CHI.XML, SURV\_RSN.XML, SURV\_KSN.XML, SURV\_YCH.XML) の「測量成果ファイル名副題」については、必要に応じファイル命名規則に従った「測量細区分」「成果等の名称」を記入することとし、さらに解りやすい語句で表現することとする。

例) 測量成果ファイル名副題

- ・ 基準点測量観測図
- ・ 中心線測量線形地形図
- ・ 縦断測量観測手簿
- ・ 詳細測量詳細平面図
- ・ 深浅測量横断図 等

< 国土交通省版の関連頁 >

(国) 測量納品要領：3-2 測量成果管理項目 (p30～32)

## 6-5 基準点測量成果ファイル

基準点測量の成果は下記に示されるファイル形式によって成果ファイルを作成する。

表 6-3 ファイル形式(基準点測量成果) (1/2) [国土交通省 表 4-1]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
基準点測量	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	<u>(国) 測量納品要領付属資料3参照</u>
	<u>基準点網図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	協議により拡張DM、CAD形式も可
	<u>平均図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	
	<u>観測図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	
	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	観測記簿	PDF	協議によりTXT形式も可
	計算簿	PDF	
	点の記	PDF	
	点の記(数値データ)	オリジナル	
	建標承諾書	PDF <u>注2)</u>	<u>イメージからPDF</u>
	精度管理表	PDF	
	点検測量簿	PDF	
	埋標手簿	PDF	
	測量標の地上写真	PDF	
	測量標設置位置通知書	PDF	
	基準点現況調査報告書	PDF	
水準測量	観測成果表	PDF	
	観測成果表(数値データ)	TXT	
	平均成果表	PDF	
	平均成果表(数値データ)	TXT	<u>(国) 測量納品要領付属資料3参照</u>
	<u>水準路線図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	協議により拡張DM、CAD形式も可

表 6-3 ファイル形式(基準点測量成果) (2/2) [国土交通省 表 4-1]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
水準測量	平均図	PDF	
	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	点の記	PDF	
	点の記(数値データ)	オリジナル	
	建標承諾書	PDF 注2)	<u>イメージからPDF</u>
	精度管理表	PDF	
	点検測量簿	PDF	
	測量標の地上写真	PDF	
	測量標設置位置通知書	PDF	
	基準点現況調査報告書	PDF	
その他	測量機器検定証明書	PDF	<u>イメージからPDF</u>
	GPS観測スケジュール表	PDF	
	衛星配置図	PDF	
	ファイル説明書	PDF	

注1) 本マニュアル6-11の2)を参照すること。

注2) 電子納品とは別に従来どおり原本の納品を行う。

<国土交通省版の関連頁>

(国) 測量納品要領：4-1 基準点測量成果ファイル (p34～p38)

## 6-6 地形測量成果ファイル

地形測量の成果は下記に示されるファイル形式によって成果ファイルを作成する。

表 6-4 ファイル形式(地形測量成果) (1/5) [国土交通省 表 4-2]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
平板測量	<u>地形図データ</u>	<u>sfc</u>	
	地形図原図	(対象外)	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	
	精度管理表	PDF	

表 6-4 ファイル形式(地形測量成果) (2/5) [国土交通省 表 4-2]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
TS 地形測量	<u>DM データファイル</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	協議によりCAD も可能 拡張子は「運用基準」参照のこと
	<u>DM データインデックスファイル</u>	<u>拡張DMI</u>	拡張子は「運用基準」参照のこと
	DM データファイル説明書	PDF	
	地形図原図	(対象外)	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (標定点設置)	標定点成果表	TXT	<u>(国) 測量納品要領付属資料3参照</u>
	標定点配置図・水準路線図	PDF	
	標定点測量簿・同明細簿等	PDF	基準点測量の形式を適用
	標定点表示空中写真	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (対空標識設置)	対空標識点明細票	PDF	
	<u>偏心要素測定簿</u>	<u>PDFも可</u>	
	<u>偏心計算簿</u>	<u>PDFも可</u>	
	対空標識点表示密着空中写真	(対象外)	
	対空標識点一覧図	PDF	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (撮影)	ネガフィルム	(対象外)	
	密着印画	(対象外)	
	<u>標定図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u> または PDF	
	縮小標定図ポジフィルム	(対象外)	
	撮影記録	PDF	
	精度管理表	PDF	
	空中写真測量 (刺針)	刺針点明細表	<u>PDFも可</u>
	<u>偏心要素測定簿</u>	<u>PDFも可</u>	

表 6-4 ファイル形式(地形測量成果) (3/5) [国土交通省 表 4-2]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
	偏心計算簿	PDFも可	
	刺針点表示密着空中写真	(対象外)	
	刺針点一覧図	PDF	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (空中三角測量)	空中三角測量成果表	TXT	(国) 測量納品要領付属資料3参照
	空中三角測量実施一覧図	PDF	協議によりCADも可
	パスポイント・タイポイント表示密着ポジフィルム	(対象外)	
	パスポイント・タイポイント表示密着空中写真	(対象外)	
	基準点残差表	PDF	
	座標測定簿	PDF	
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (現地調査)	現地調査空中写真	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (図化)	図化素図	(対象外)	
	基準点資料図	(対象外)	
	標定記録簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (地形補備測量)	地形補備測量図	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (編集)	編集素図	(対象外)	
	注記資料図	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量 (現地補測) (補測編集)	現地補測の結果を整理した 藍焼図及び編集素図	(対象外)	
	精度管理表	PDF	

表 6-4 ファイル形式(地形測量成果) (4/5) [国土交通省 表 4-2]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
空中写真測量 (地形図原図作成)	地形図原図	(対象外)	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	
	地形図原図の藍焼図	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
修正測量	地形図修正原図	(対象外)	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	
	地形図修正原図の藍焼図等	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
写真図作成	複写ネガフィルム	(対象外)	
	複写網ポジフィルム	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
地図編集	編集原図	(対象外)	
	注記資料図	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
デジタル マッピング	DM データファイル	拡張DM・sfc 注1)	協議によりCADも可能 拡張子は「運用基準」参照 のこと
	DM データインデックスファイル	拡張DMI	拡張子は「運用基準」参照 のこと
	DM データファイル説明書	PDF	
	地形図原図	(対象外)	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
デジタル オルソ	数値写真	(対象外)	
	数値地形モデル	拡張DM・sfc 注1)	
	正射投影画像	(対象外)	
	モザイク画像	(対象外)	
	デジタルオルソデータファイル	TIF	
	位置情報ファイル	TXT	ワールドファイル仕様 拡張子は「運用基準」参照 のこと
	精度管理表	PDF	
その他地形測量			—

表 6-4 ファイル形式(地形測量成果) (5/5) [国土交通省 表 4-2]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
その他	測量機器検定証明書	PDF	<u>イメージからPDF</u>
	ファイル説明書	PDF	

注 1) 本マニュアル 6-11 の 2) を参照すること。

< 国土交通省版の関連頁 >

(国) 測量納品要領：4-2 地形測量成果ファイル (p39～p46)

## 6-7 応用測量成果ファイル

応用測量の成果は下記に示されるファイル形式によって成果ファイルを作成する。

表6-5 ファイル形式(路線測量成果) (1/2) [国土交通省 表4-3]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
線形決定	<u>線形図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注 1)</u>	
	計算簿	<u>PDF・SIM</u>	<u>路線データSIMA形式</u>
条件点の観測	成果表	PDF	
	<u>成果表(数値データ)</u>	<u>SIM</u>	<u>点データSIMA形式</u>
	観測手簿	PDF	
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
IP 設置測量	計算簿	PDF	
	点の記	PDF	
	精度管理表	PDF	
中心線測量	<u>線形地形図</u>	<u>sfc・拡張DM</u> <u>注 1)</u>	拡張DMを納品するのは、地形図拡張DMがある場合
	引照点図	PDF	
	計算簿	PDF	
	<u>計算簿(数値データ)</u>	TXT	
	点の記	PDF	主要点のみ
	精度管理表	PDF	
仮BM 設置測量	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	<u>(国) 測量納品要領付属資料</u> <u>3参照</u>
	水準路線図	PDF	
	平均図	PDF	
	観測手簿	PDF	
	点の記	PDF	
	精度管理表	PDF	

表 6-5 ファイル形式(路線測量成果) (2/2) [国土交通省 表 4-3]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
縦断測量	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	SIM	縦断データSIMA形式
	縦断面図	sfc	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
横断測量	横断面図	sfc	協議によりCADデータ
	成果表(数値データ)	SIM	横断データSIMA形式
	観測手簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
詳細測量	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	SIM	点・縦横断データSIMA形式
	詳細平面図	拡張DM・sfc 注1)	協議によりCADデータ
	縦横断面図	sfc	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
用地幅杭設置測量	杭打図	拡張DM・sfc 注1)	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	SIM	幅杭データSIMA形式
	精度管理表	PDF	
その他	測量機器検定証明書	PDF	イメージからPDF
	点検測量簿	PDF	
	ファイル説明書	PDF	

注1) 本マニュアル6-11の2)を参照すること。

表6-6 ファイル形式(河川測量成果) (1/3) [国土交通省 表4-4]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
距離標設置測量	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	SIM	点データSIMA形式
	点の記	PDF	協議によりオリジナルデータも可
	距離標位置情報整理表	PDF	協議によりオリジナルデータも可
	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	

表6-6 ファイル形式(河川測量成果)(2/3) [国土交通省 表4-4]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
水準基標測量	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	(国)測量納品要領付属資料3参照
	点の記	PDF	協議によりオリジナルデータも可
	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
定期縦断測量	測量成果整理表	PDF	
	測量成果(数値データ)	TXT	
	縦断面図	sfc	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
	業務報告書	PDF	
定期横断測量	測量成果整理表	PDF	
	測量成果表(数値データ)	TXT	
	横断面図	sfc	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
	業務報告書	PDF	
深浅測量	横断面図	sfc	協議によりCADデータ
	記録紙	PDFも可	
	観測手簿	PDF	
	縦断面図	sfc	協議によりCADデータ
	等高・等深線図	拡張DM・sfc 注1)	
法線測量	線形図	拡張DM・sfc 注1)	
	観測手簿	PDF	
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
海浜測量	等高・等深線図	拡張DM・sfc 注1)	
	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
汀線測量	汀線図	sfc	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	

表6-6 ファイル形式(河川測量成果) (3/3) [国土交通省 表4-4]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
その他	測量機器検定証明書	PDF	イメージよりPDF
	点検測量簿	PDF	
	ファイル説明書	PDF	

注1) 本マニュアル6-11の2)を参照すること。

表6-7 ファイル形式(用地測量成果) (1/2) [国土交通省 表4-5]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
資料調査	公図等転写図	(対象外)	
	<u>公図等転写連続図</u>	拡張DM・sfc 注1)	
	<u>土地調査表</u>	PDF・EXCEL	協議によりEXCEL追加
	<u>建物登記簿調査表</u>	PDF・EXCEL	協議によりEXCEL追加
	地積測量図転写図	PDF	イメージからPDF
	<u>権利者調査表</u>	PDF・EXCEL	協議によりEXCEL追加
復元測量	<u>復元箇所位置図</u>	拡張DM・sfc 注1)	
	観測手簿	PDF	
境界確認	土地境界立会確認書	PDF 注2)	イメージからPDF
境界測量	成果表	PDF	
	<u>成果表(数値データ)</u>	SIM	点データSIMA形式
	観測手簿	PDF	
	<u>観測手簿(数値データ)</u>	オリジナル	
	測量計算簿等	PDF	
補助基準点 の設置	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	(国)測量納品要領付属資料3 参照
	<u>基準点網図</u>	拡張DM・sfc 注1)	
	観測手簿	PDF	
	<u>観測手簿(数値データ)</u>	オリジナル	
	計算簿	PDF	

表 6-7 ファイル形式(用地測量成果) (2/2) [国土交通省 表 4-5]

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	備考
測量細分類	成果等の名称		
補助基準点の設置	精度管理表	PDF	
用地境界仮杭設置	<u>設置箇所位置図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	
	成果表	PDF	
	<u>成果表(数値データ)</u>	<u>SIM</u>	<u>点データSIMA形式</u>
	計算簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
用地境界杭設置	<u>設置箇所位置図</u>	<u>拡張DM・sfc</u> <u>注1)</u>	
	成果表	PDF	
	<u>成果表(数値データ)</u>	<u>SIM</u>	<u>点データSIMA形式</u>
	計算簿	PDF	
境界点間測量	精度管理表	PDF	
	精度管理図	PDF	
面積計算	面積計算書	PDF	
	面積計算書(数値データ)	TXT	
用地実測図等の作成	用地実測図原図	(対象外)	
	<u>用地実測データ</u>	<u>sfc・拡張DM</u> <u>注1)</u>	
	用地平面図	(対象外)	
	<u>用地平面データ</u>	<u>sfc・拡張DM</u> <u>注1)</u>	拡張DMを納品するのは、地形図拡張DMがある場合
	精度管理表	PDF	
その他	測量機器検定証明書	PDF	<u>イメージからPDF</u>
	点検測量簿	PDF	
	ファイル説明書	PDF	

注1) 本マニュアル6-11の2)を参照すること。

注2) 電子納品とは別に従来どおり原本の納品を行う。

<国土交通省版の関連頁>

(国) 測量納品要領：4-3 応用測量成果ファイル (p47～p61)

## 6-8 測量成果等

県の要領では下記に示すものを追加する。

表 6-8 ファイル名設定記号のカテゴリ区分 [国土交通省 表 5-2]

成果等のカテゴリ	成果等の名称	DATA, WORK 区分	設定記号
山梨県が独自で 求める成果品	建標承諾書、測量標設置位置通知書、横断 測量成果表(数値データ)、偏心要素測定簿、 偏心計算簿、刺針点明細表、記録紙	DATA WORK	Y

表6-9 ファイル命名規則（基準点測量成果） [国土交通省 表5-3]

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル 名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
基準点測量 <KJ*>	基準点測量	建標承諾書	Y1	WORK
		測量標設置位置通知書	Y2	DATA
水準測量 <SJ*>	水準測量	建標承諾書	Y1	WORK
		測量標設置位置通知書	Y2	DATA

表6-10 ファイル命名規則（地形測量成果） [国土交通省 表5-4]

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル 名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
平板測量 <CH*>	平板測量	地形図データ	Y1	DATA
撮影 <CS*>	対空標識設置	偏心要素測定簿	Y1	WORK
		偏心計算簿	Y2	WORK
	刺針	刺針点明細表	Y3	WORK
		偏心要素測定簿	Y4	WORK
		偏心計算簿	Y5	WORK

表6-11 ファイル命名規則（路線測量成果） [国土交通省 表5-5]

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル 名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
縦横断測量 <RZ*>	横断測量	成果表(数値データ)	Y1	DATA

表6-12 ファイル命名規則（河川測量成果） [国土交通省 表5-6]

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK区分
	測量細分類	成果等の名称		
深淺測量 <WS*>	深淺測量	記録紙	Y1	WORK

<国土交通省版の関連頁>

(国) 測量納品要領：5-1 測量成果等 (p62～72)

### 6-9 基準点測量と業務管理項目の入力について

測量成果データを作成するのに用いた既知点の情報（基準点・水準点）を業務管理項目（INDEX\_D.XML）「予備」欄に入力する。

既知点の情報（基準点・水準点）は、データの再利用を図る上で重要な情報源である。よって、山梨県では、業務管理情報（INDEX\_D.XML）に下記に示すデータの入力をおこなうものとする。

例)

- ・ 基本測量における成果
- ・ 公共測量における成果
- ・ 国土調査における成果
- ・ ○○公団における成果
- ・ 任意

なお、基準点と水準点の成果が異なる場合は、先に基準点の既知点情報、後に水準点の既知点情報を入力する。下記の事例では、“公共測量における成果”が基準点の既知点情報に該当する。

例)

- ・ 公共測量における成果、○○公団における成果

## 6-10 成果文書ファイルの取り扱い

### 1) PDF ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する PDF ファイルの作成単位は、5 MB 程度を 1 ファイルとする。なお、PDF ファイルは、初期表示倍率 100%、しおり及びサムネイルの作成は不要とする。

(国)設計納品要領(「5 報告書ファイルの作成」P12)では、報告書のファイル編集(PDF)について、しおり・サムネイル・初期表示設定等を定めているが、測量成果品に対するPDFの規定に関する特段の規定はない。そこで、その提出される書類の利用等を勘案し、上記規定を定めた。

なお、イメージからPDFファイルを作成する場合、原本とプリントアウトしたものが、同等な精度となるよう配慮する。(イメージの読み取り解像度の目安は、300dpi程度)

### 2) 数値テキスト形式

数値テキスト形式は、原則として(国)測量納品要領添付の付属資料3の成果形式を用いる。ただし、数値テキスト形式が定められていない成果に対しては、当面の間、測量データ共通フォーマットSIMA形式(\*1)を準用する。

\*1 SIMA フォーマットとは、測量データを異なるシステム間で簡単に交換できることを目的として日本測量機器工業会が規格を定めたデータフォーマットである。このデータフォーマットとしたのは、民間の団体が定めたものではあるが、現在の測量機器に最も多く使用されており、後の利用を考えた場合有効であると考えられるからである。このフォーマットでは、座標点データ、路線データ、区画データ、縦横断データが異なるシステム間で交換できる。どの様なものかを、下記に点データ形式の例として示す。

G00,01,〇〇〇〇測量業務委託,	←	ファイル属性情報(現場名等)
Z00,座標データ,	←	コメント
	←	A00,座標

出力開始

A01,1,A1,-32657.616,40877.724,596.540,	座標データ(点番/点名/X/Y/Z座標)
A01,2,A2,-32656.079,40876.492,596.600,	〃
A01,3,A3,-32654.526,40875.170,596.640,	〃

## 6-11 図面データの取り扱い

測量成果における図面データ（地形図、縦横断図、用地実測図など）は、（国）CAD 製図基準に準拠する。なお、ファイル形式は **sfc** 形式とする。

地形図、縦横断図、用地実測図、用地平面図など測量成果における図面データの利便性は高い。しかし、（国）測量納品要領では、図面データそのものの電子納品の義務化を図っていない。これでは、コンサルタント会社等にデータを流通する事ができないため、県では、利便性が高い測量成果図面を CAD 形式により電子納品することを義務付ける。

なお、CAD データのフォーマットについては、「8-2 CAD データのフォーマットについて」を参照すること。

### 1) 平板測量

平板測量による成果データは、**sfc** 形式にて電子納品する。

レイヤ名等は、地形図データの使用用途に合わせ、（国）CAD 製図基準添付の付属資料 2 を索引し、決定するものとする。

通常、平面図については、国土交通省公共測量作業規定の大縮尺地形図図式（以下「大縮尺地形図図式」という）に従って作成されているが、線種等が（国）CAD 製図基準に合わない部分がある。

運用としては、（国）CAD 製図基準に無理に合わせず、「文字サイズ」「線種」「線幅」については、の大縮尺地形図図式に従い、「レイヤ名」と「線色」については、（国）CAD 製図基準に合わせて作成するものとする。

ただし、測量 CAD から **SXF** 形式に変換する際には、「線幅」「線色」「線種」「注記データ」については建設情報標準化委員会の電子地図／建設情報連携小委員会で定めている「拡張 DM-SXF 変換仕様（案）」を参考に行うこと。

（「拡張 DM-SXF 変換仕様（案）」→<http://www.jacic.or.jp/hyojun/dm-cad.htm>）

## 2) DM データ

DM データファイルを作成した場合、DM データファイルのほか sfc 形式も併せて電子納品する。なお、DM データのファイル名は、図郭識別番号をファイル名とし、電子納品をおこなう。

DM データを電子納品する場合、コンサルタント会社等に円滑なデータ流通が図れるよう DM データ形式のほか sfc 形式においても併せて電子納品する。sfc 形式は、DM データの単位図郭ごとではなく、(国) CAD 製図基準 1-2 に定められた図面の大きさ、様式、レイアウトに合わせ電子納品する。

このDMから、CADへ変換する場合にはDMデータを大縮尺地形図図式に従って作成し、「線幅」「レイヤ」「線色」「線データ」「円データ」「注記データ」の変換方法については「拡張DM-SXF変換仕様(案)」→

(<http://www.jacic.or.jp/hyojun/dm-cad.htm>) を参照すること。

ソフトの対応状況等で拡張 DM 形式による納品が行えない場合はCADデータ(sfc)のみの納品でもよい。この場合は、監督員に報告することとし、「測量情報管理項目」の「その他」の「予備」欄にその旨を記載すること(これは当面の間の措置とする)。

## 3) 縦横断図データ

縦横断図データは、(国) CAD 製図基準に準拠した所定のレイヤ名や線色などを用いてデータを作成する。ただし、データの格納先は、<SURVEY>フォルダ以下の所定フォルダ内に格納する。

## 4) 用地測量における図面データ

用地測量における図面データ(用地実測図、用地平面図、公図転写連続図)のレイヤ名及び線色等は、8CAD編 8-3用地測量図面におけるレイヤに定める。

## 6-12 用地測量調査業務で提出するファイルについて

用地測量調査業務において、用地買収や用地補償に関する作業を実施した場合、「用地成果品電子情報ファイル」を電子納品する。ファイル形式は xls 形式および csv 形式とする。

表 6-13 ファイル命名規則(用地測量) [国土交通省 表 5-7]

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK区分
	測量細分類	成果等の名称		
その他 <YOT>	その他	用地成果品電子情報	JY	OTHERS

このファイルは、県の「公共事業総合管理システム（公共システム）」に使用する  
ために提出してもらうものである。

ファイル名は「YOTJY001.xls」「YOTJY001.csv」とし、この二つのファイルをそ  
の他データサブフォルダに格納する。

様式を <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/ds-gijutsu/02360792716.html>  
からダウンロードして使用する。（各建設事務所(特設事務所)の用地担当からフロッ  
ピーディスクで入手も可能）

システムに取り込む際に支障になることがあるため、ファイルのフォーマットにつ  
いては変更しないこと。

事業情報							地権者情報												
レコード番号	ダム一区分 【ダム一空白】	用地箇所名		用地場所	事業種別	事業区分 【公共・県単】	取得種別 【直営買収・先行取得】	郵便番号		住所		番地	電話番号	共有者	共有比率 (分子)	共有比率 (分母)			
		事業名	路線名					前	後	地権者名	地権者名(カナ)								
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	榎村貴寿	イナムラタカシ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	2	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	榎村貴寿	イナムラタカシ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	2	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	榎村貴寿	イナムラタカシ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	2	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	榎村貴寿	イナムラタカシ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	2	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	榎村貴寿	イナムラタカシ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	2	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	共有	個人	榎村一郎	イナムラチロウ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	1	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	共有	個人	榎村一郎	イナムラチロウ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	1	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	共有	個人	榎村二郎	イナムラジロウ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	1	1	3
1		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	共有	個人	榎村二郎	イナムラジロウ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-1	XXX-XXX-XXXX	1	1	3
2		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	鈴木雅夫	スズキマサオ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-2	XXX-XXX-XXXX	0		
3		道路改良事業	県道1号線	甲府市相生	道路事業	県単	直営買収	代表	個人	佐藤一朗	サトウイチロウ	400	0858	山梨県甲府市相生	1-3	XXX-XXX-XXXX	0		

図 6-1 用地成果品電子情報の様式と記入例

### 6-13 用地調査業務等の電子納品について

用地補償業務だけ実施した場合、成果品は電子納品対象外であっても「用地成果品電子  
情報ファイル」は電子納品する。

「用地調査等標準仕様書」で定められている用地調査等業務は、「用地測量」と「補  
償調査」に大別される。

「用地測量」については「(国) 測量納品要領」で策定されているので、「(国)  
測量納品要領」と要領に従い電子納品を行う。

「補償調査」については、国の要領、基準等でも特に定められておらず、県でも独  
自に補償調査に関する電子納品要領の作成については予定していない。

よって、「補償調査」に関しては電子納品対象外（従来どおり紙納品）とする。

ただし、前項にも記述したとおり「用地成果品電子情報ファイル」については、用  
地補償業務での調査内容も入力することになっている。よって、用地補償業務だけ実  
施した場合、成果品は電子納品対象外であっても「用地成果品電子情報ファイル」は  
電子納品することになるので留意すること。

## 7 工事完成図書編

### 7-1 適用

(国) 工事図書納品要領の下記の記述を読み替えることとする。

国土交通省： 1.土木工事共通仕様書（各地方整備局）

↓

山 梨 県： 1.山梨県県土整備部（土木部）「土木工事共通仕様書」

<国土交通省版の関連頁>

(国) 工事図書納品要領：1 適用 (p1)

### 7-2 電子納品対象書類

工事完成書類のうち「工事写真」「工事完成図」「出来形管理図」を当面の間、電子納品の対象書類とする。

職員に対するアンケートでは、省スペースの観点から全ての書類を対象にという意見もあったが、書類の原本性、押印、竣工検査体制などの問題点が多い現状から、今後の利活用が想定される「工事完成図」と「出来形管理図」について電子納品することとした（これ以外の書類は、従前と同じく紙納品）。

当面の間とは、電子認証や情報共有システムなどが整備され電子データで作成した書類等がそのまま電子納品できる体制が整うまでと考えている。

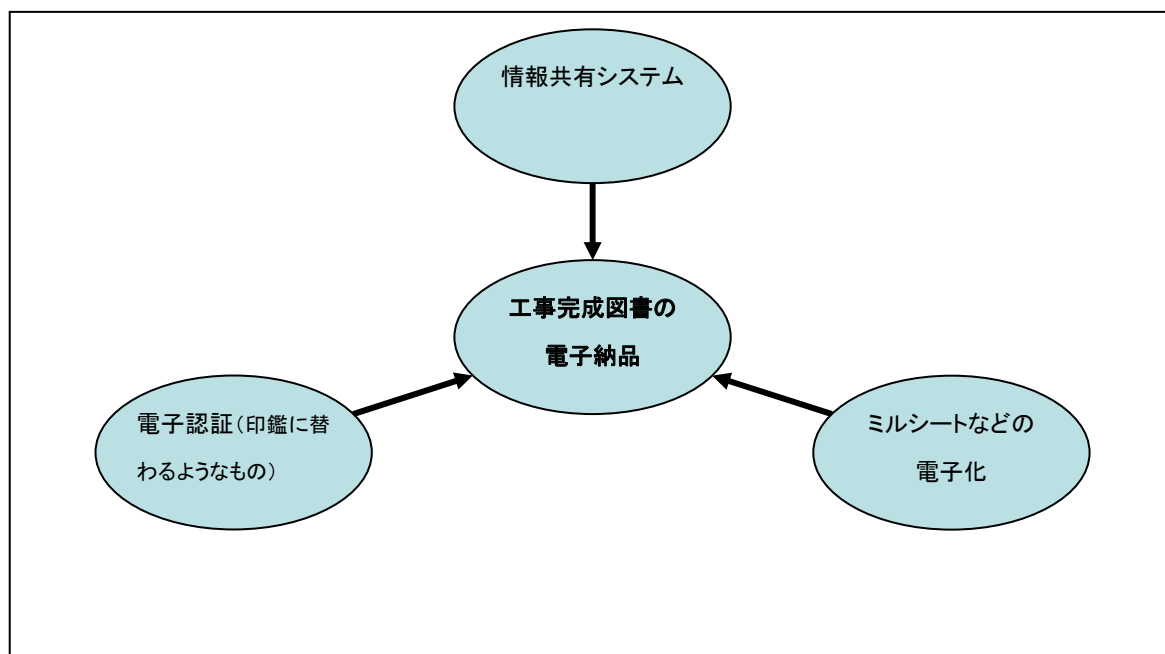


図 7-1 工事完成図書の電子納品に必要な要素

☆「工事完成図」を電子データで納品してもらう理由

→ 電子納品された「工事完成図」を台帳へ反映させる。

※国の目指すデータ標準化では、測量から始まったデータのサイクルをGISへ移行し活用していくことを目的としている。

今回の工事完成図の提出は現段階では台帳作成へと繋がるものではないが（SXFデータとGISデータの交換仕様が定まっていないため）、変換仕様が定まれば台帳作成の貴重なデータとなる。また、さらにその他の利活用も期待できる。

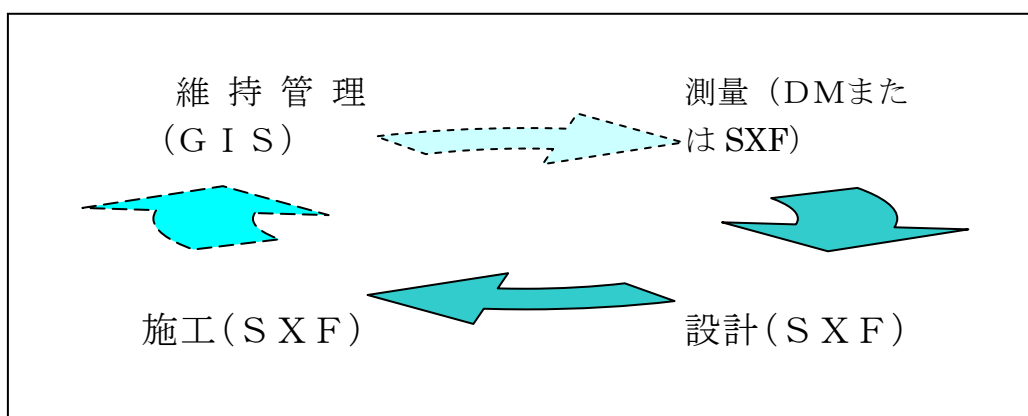


図 7-2 図面のデータサイクルのイメージ

その他、具体的なデータ利用例

- ・台帳が整えられ、供用開始となるまでの間の管理用図面として
- ・構造物の維持・補修、災害復旧工事などの計画図面として

技術管理室では、電子納品保管管理システムの構築を予定しており、システムが構築されれば「工事完成図」をシステムに格納し、台帳が整備されるまでの間、閲覧したり格納データを活用したりすることができる。

☆「出来形管理図」を電子データで納品してもらう理由

→ 電子納品された「出来形管理図」は台帳の資料（施工履歴など）や次期工事の発注の参考資料として使用したい。

◎「工事完成図」「出来形管理図」「工事写真」以外の工事完成書類の電子納品について

受注者側から電子納品したいとの積極的な申し出があった場合、電子納品推進の観点から、これを妨げない。その際には、監督員との協議により、電子納品対象とする書類を決定する。ただし、発注者側は押印のあるものや、押印の必要なもの以外は、電子納品推進の観点から紙と電子の二重納品は求めないことを原則とする。



工事完成図は、工事目的物の絵姿を要求しているものである。よって、起工測量の結果、横断図が現地と異なった場合など、平面図の等高線などは修正しなくても良いこととする。

共通仕様書でも、完成図について定義されているが、電子納品する工事完成図は、本マニュアルに従い、作成すること。

参考

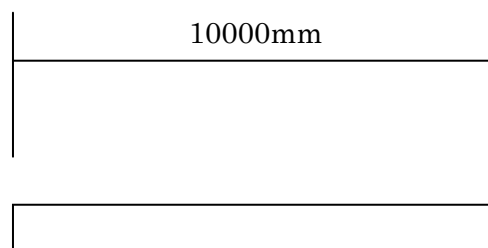
共通仕様書から抜粋

1. 請負者は、出来形数量を算出するために出来形測量を実施しなければならない。
2. 請負者は、出来形測量の結果を基に、土木工事数量算出要領（案）及び設計図書に従って、出来形数量を算出し、その結果を監督職員に提出しなければならない。出来形測量の結果が、設計図書の寸法に対し、土木工事施工管理基準及び規格値を満たしていれば、出来形数量は設計数量とする。なお、設計数量とは、設計図書に示された数量及びそれを基に算出された数量をいう。

請負者は、出来形測量の結果及び設計図書に従って完成図を作成し、監督職員に提出しなければならない。

例 - 200 の規格値 → - 200 ~ + 200 の値に入っていれば、設計値とみなす。

### 設計図

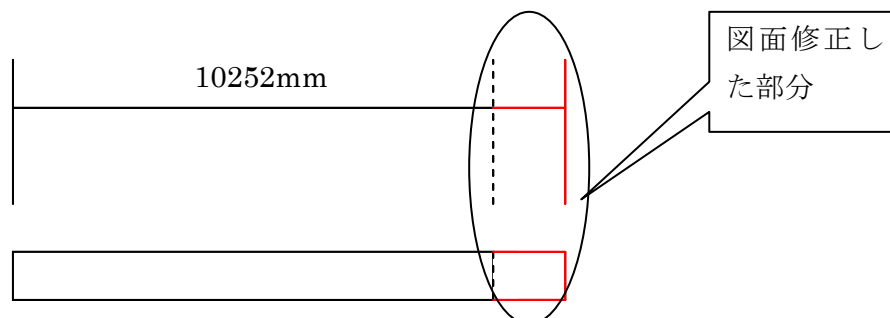


出来形測量の結果・・・（規格値-200の場合）

延長が 10182mm → 図面に変更無し

延長が 10252mm → 図面を修正する（-200~+200 外なので）

### 完成図



波線・・・設計時の線（実際は消去して納品）

<国土交通省版の関連頁>（国）工事図書納品要領：2 用語の定義（p2）

## 7-5 「工事完成図」を電子納品対象とする工事について

改築系の工事を対象とする。

ただし、(国)CAD製図基準に基づき作成された発注図の電子データが提供された場合とする。(図7-3参照)

現状を回復させるだけといったような(災害、維持工事等で現状が変わらないような)工事は「工事完成図」の電子納品は不要とする。

ただし、工種が変わった場合(例えば、災害復旧工事でブロック積が野面石積になった場合など。)には電子納品する。

また、発注図の電子データが(国)CAD製図基準に基づいて作成されたデータの場合に電子納品の対象とする。

発注図の作成については電子納品の開始により、委託者から電子納品された成果をもとに作成される場合が多いと思われるが、維持補修や災害復旧工事など緊急を要するものや河川の護岸工事など難しい設計を要しない工事については、発注者自らが作成する場合が想定される。前者の場合は問題ないと思われるが、後者の場合は、(県)電子納品チェックソフトでチェックした結果、エラーの無い図面であることが最低限必要となる。ただし、エラー(注意エラー)があっても、エラーとして取り扱わない内容がある(その内容が許容される)場合は、受注者に発注図を提供する際に、その旨を申し送ること。この場合においては、電子納品チェックソフトで出力したチェック結果とともに打合せ簿などの書面で、その旨を受注者に申し送ることが望ましい。

### (1) 電子納品対象の工事完成書類と工事について

電子納品の対象となる書類と工事の関係を表7-1に示す。

表7-1 電子納品の対象となる工事完成書類と工事

工事完成書類	対象工事
写真	全ての工事
出来形管理図	全ての工事
工事完成図	改築系の工事で(国)CAD製図基準に準拠した図面の提供があった場合。

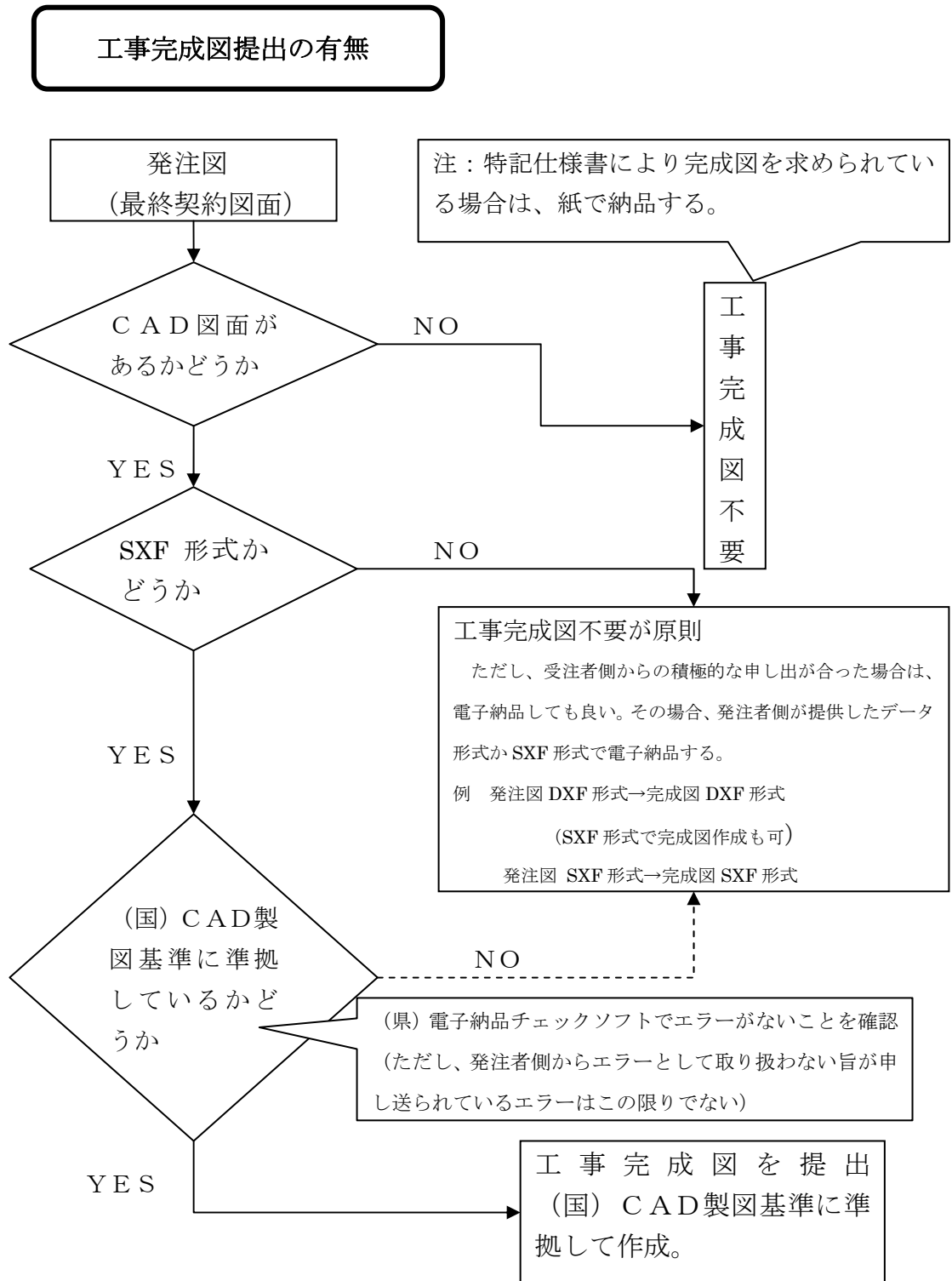


図 7-3 工事完成図提出に関する流れ

(2) レイヤ構成について

(国) CAD製図基準に示されたレイヤ構成を表 7-2 に示す。

表 7-2 ( (国) CAD 製図基準 (p13) 表 2-2 レイヤ分類)

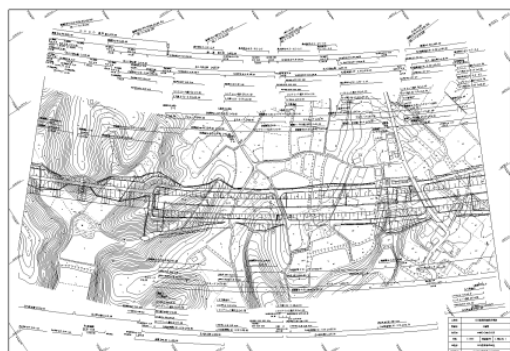
図面オブジェクト			記載内容
1	図枠	TTL	外枠、表題欄、罫線、文字、縦断図の帯枠
2	背景	BGD	主曲線、計曲線、現況地物、既設構造物、等
3	基準	BMK	基準点、測量ポイント、中心線、幅杭、等
4	主構造物	STR	当該図面名称で表すような構造物
5	副構造物	BYP	主構造から派生する構造物
6	材料表	MTR	切盛土、コンクリート、鉄筋加工、数量
7	説明、着色	DCR	ハッチ、シンボル、塗りつぶし、記号、等

上記以外に (国) CAD 製図基準では、より細かい命名規則がある。

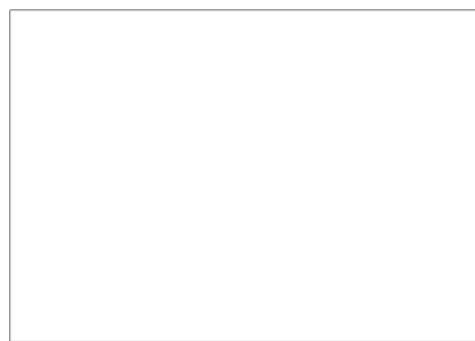
例えば、紙に表題欄を描くときには一枚の紙に描くが、(国) CAD 製図基準に従って描くときには、表題枠は 設計の段階では D-TTL-FRAM、というレイヤに、表題の文字は D-TTL-TXT のレイヤに描く。

(レイヤ構成の例)

元図



○-TTL (図枠)



○-TTL-FRAM (タイトル枠)



○-TTL-TXT (タイトル文字)



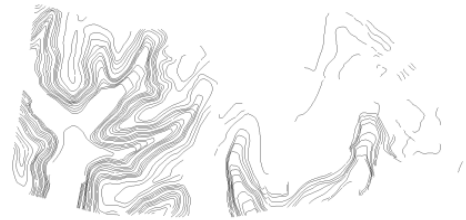
○-TTL-LINE (タイトル線)

○-BGD (現況地物)



○-BGD-HICN (計曲線)

○-BGD-LWCN (主曲線)



○-BGD-HTXT (旗上げ)

○-BGD-TXT (文字列)



○-BMK (道路中心線)

○-BMK-SRV (測点ポイント)



○-BMK-ROW (用地境界)



○-BMK-HTXT (測点名)



○-STR (道路幅)



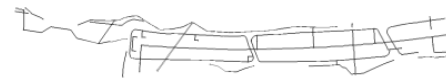
○-STR-STR1 (橋梁)



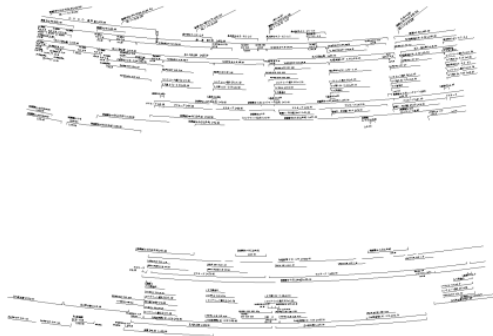
○-STR-STR4 (盛土法面)



○-STR-STRB (用排水構造物)



○-STR-HTXT (旗揚げ)



○-には S,D,C,M のいずれかが入る。

測量	<u>s</u> urvey
設計	<u>d</u> esign
施工	<u>c</u> onstruct
維持管理	<u>m</u> aintenance

## 7-6 「工事完成図」として納める図面について

工事完成図として納める図面は、設計図面（契約図書の一部となる図面）とされているものを対象とする。

工事施工にあたり、発注者側から契約図面と参考図面が提供されることがほとんどであると思われるが、発注者側が提供した図面の全てを、工事完成図を作成する対象とはしない。

参考図面とされている図面を「工事完成図」として求める場合は、受発注者間の協議によるものとする。

### 【参考】

**設計図面**とは「平面図」「縦断図」「標準横断図」「構造図」等の契約図書の一部となる図面。

**参考図面**とは「横断図」「展開図」「任意仮設図」等の入札参加者の適正かつ迅速な見積書の作成、及び工事施工の参考に資する図面。

## 7-7 出来形管理図の定義

「出来形管理図」とは、設計値に対して出来形測量による出来形寸法（実測値）を対照書きしたものをいう。

出来形管理図には、設計値と実測値の2種類を記載することとなるが、設計値と実測値の区別ができるようにすること。

例えば、紙で作成する場合、設計を黒色、実測を赤色で表現する場合などがある。カラスキャナなどがあり、その表現がきちんと見られるようになっていれば良いが、カラーに対応していないスキャナの場合は、白黒でしか表現されない。設計と実測がわかりにくくならないように図面を作成することに留意する。

（例えば、設計値を括弧書きにし、実測値をその上に表示するなど。凡例もつけること。）

## 7-8 出来形管理図のデータ形式等について

「出来形管理図」の様式は問わないが、データ形式は SXF(sfc)形式、PDF 形式、JPG 形式、TIF 形式または xls 形式のいずれかとする。

出来形管理図の様式は問わない。よって、受注者が自由に作成して良い。  
ただし、電子納品する際のファイル形式は次のいずれかとする。

- 1) 出来形管理図を CAD で作成した場合には、SXF 形式とする。
- 2) 出来形管理図を紙で作成した場合は、スキャニングして PDF 形式か JPG 形式または TIF 形式とするか、デジカメ等で撮影して JPG 形式とする。
- 3) 出来形管理図を Microsoft Excel で作成した場合には、xls 形式とする。

スキャニングして提出したい場合は監督員に依頼して、スキャニングしてもらい、そのデータを利用して電子納品することも可能である（この場合、白黒表示となる）。  
また、デジカメ等で撮影して提出する場合は、数字等が判別可能なものを提出すること。

作成した出来型管理図（データ）は「M E E T（打合せ簿）フォルダ内の「O R G（打合せ簿オリジナルファイルフォルダ）」に格納し、それに関連する打合せ簿（鏡）の格納は省略してもよいこととする。

なお、「出来形管理図」については、検査に使用するため紙でも納品する。

## 7-9 打合せ簿管理ファイル（M E E T . X M L）について

出来形管理図を電子納品するにあたり、打合せ簿管理ファイル（M E E T . X M L）に記入する打合せ簿管理項目は次のとおりとする。

### (1) 打合せ簿種類

「出来形管理図」を電子納品する際の打合せ簿の種類は「提出」とする。

### (2) 打合せ簿名称

「出来形管理図」を電子納品する際の打合せ簿名称は、「出来形管理図」（複数枚ある場合は工種または連番も記入）とする。

例) 出来形管理図(水路工)、 出来形管理図(法面工 1)、出来形管理図(法面工 2)など

### (3) 発行日付および受理日付

「発行日付」および「受理日付」は、工事完成書類を提出する日付とする。

<国土交通省版の関連頁> (国) 工事図書納品要領：4-2 打ち合わせ簿管理項目 (p12)

## 7-10 発注図の準備・提供

設計成果から必要な図面を抽出し発注図を作成する場合、図番変更や図形等の修正が必要となるが、それに併せて、表題欄、ファイル名或いはレイヤ名も変更する必要があるので留意すること。

また、ファイル名の変更等に伴い、その変更内容を図面管理ファイル (DRAWINGS.XML) に反映させる必要が生じることに留意すること。

この図面管理ファイルは、これに関連する DTD ファイルと発注図 (SXF 形式ファイル) とともに、発注図 (DRAWINGS) フォルダに格納して、受注者に提供する。

### (1) 表題欄・ファイル名の付け替え

設計成果から必要な図面を抽出し、発注図を作成するが、その際、図番変更に伴い、表題欄・ファイル名に変更が生ずることに留意する。

#### 表題欄

[例] ○○道路詳細設計 CAD データを○○道路××工事に使用する場合

表題欄の工事名欄：○○道路詳細設計 ⇨ ○○道路××工事

#### ファイル名

設計段階で使用していたファイル名の責任主体を、ライフサイクルに合わせて D(設計)から C(施工)に付け替える。改訂履歴は Z から 0 にする。

[例] 道路詳細設計の平面図(PL)を発注図に使用する場合

ファイル名：DOPL001Z.sfc ⇨ COPL0010.sfc

### (2) レイヤ名の付け替え

レイヤ名の責任主体については、レイヤ内容の責任主体を区別するため、ファイル名の場合と異なり、加筆・修正を行わないレイヤに関しては、発注図の段階においては、D(設計)のままである。

設計成果から必要な図面を抽出し、発注図を作成する際、設計段階で作成したレイヤに加筆・修正がある場合は、該当するレイヤ名の責任主体を変更するのが望ましい。

(例) 発注図作成の際に、外枠文字列 (-TTL-TXT) レイヤを修正した場合

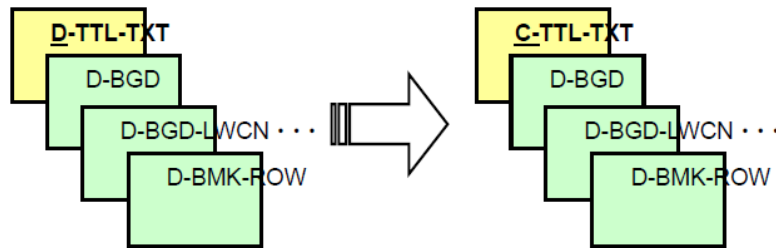


図 7-4 レイヤ名の付け替え

(3) 発注図の準備から提供までの流れ

- 設計成果から発注に必要な図面データを抽出
- 原則、CAD 製図基準に準拠した CAD (SXF 形式) データであることを確認
- ファイル名・表題欄及び加筆修正した図形等が属するレイヤ名 (責任主体) を変更
- 図面管理ファイル DRAWINGS.XML を作成
- 当初契約時及び変更設計の度に発注図 (変更契約図面) を受注者に提供

なお、発注図データは CD-R 等の電子媒体に格納して、契約後着工前に提供するのが望ましい。

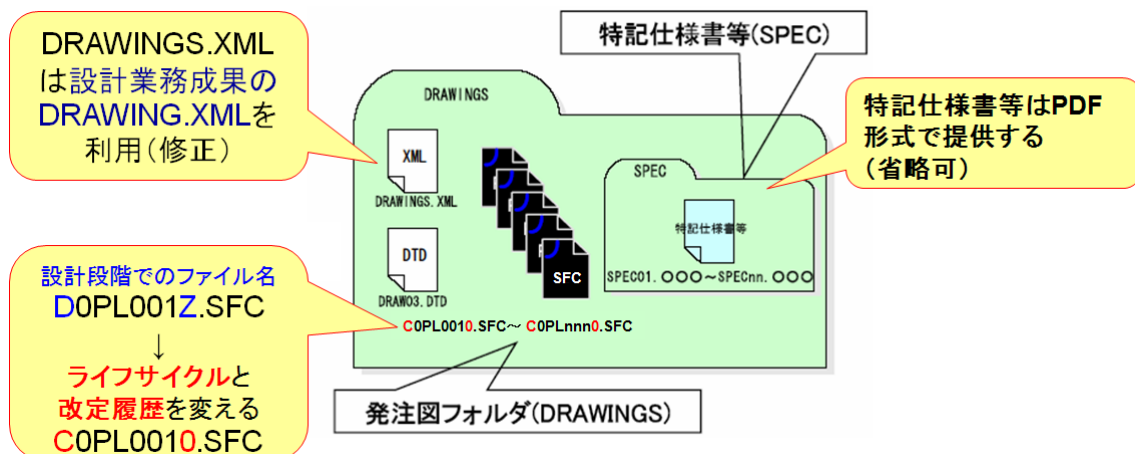


図 7-5 提供する発注図のイメージ

## 7-11 特記仕様書の作成

電子納品実施にあたっては、電子納品に関する事項を特記仕様書に記載すること。

電子納品実施にあたっては、電子納品に関する事項を特記仕様書に記載すること。  
以下に特記仕様書（工事）記載例を示す。

### (1) 工事完成図と出来形管理図と工事写真を電子納品させる場合

#### 第〇〇条（電子納品）

本工事は、電子納品対象工事とする。

電子納品とは、対象となる工事完成書類を電子データで納品することをいう。

#### 第〇〇条（電子納品作成要領）

納品する電子データは、「山梨県県土整備部 電子納品要領」（以下、「要領」という）及び「山梨県県土整備部 電子納品運用マニュアル」（以下、運用マニュアルという）に従い作成する。

#### 第〇〇条（電子納品対象書類）

工事完成書類のうち、工事完成図と出来形管理図と工事写真を電子納品の対象とする。

### (2) 出来形管理図と工事写真を電子納品させる場合

#### 第〇〇条（電子納品）

本工事は、電子納品対象工事とする。

電子納品とは、対象となる工事完成書類を電子データで納品することをいう。

#### 第〇〇条（電子納品作成要領）

納品する電子データは、「山梨県県土整備部 電子納品要領」（以下、「要領」という）及び「山梨県県土整備部 電子納品運用マニュアル」（以下、運用マニュアルという）に従い作成する。

#### 第〇〇条（電子納品対象書類）

工事完成書類のうち、出来形管理図と工事写真を電子納品の対象とする。